



ジョイフルながえ

市議会だより

しほり

第44号

# 議会報告会を開催



峰田自治振興センター



庄原市ふれあいセンター

■発行:平成27年8月20日

P.2 議会報告会の概要

## 6月定例会

P.4 主な議案

P.5 補正予算

P.6 所管事務調査報告・議決結果

P.7 一般質問

P.14 議員表彰

P.15 政務活動費収支報告



八銚自治振興センター



新坂自治振興センター



八幡自治振興センター

平成27年度

# 議会報告会を

# 開催しました



東自治振興センター

## 【議会報告会当日の内容】

### 1 議会活動報告

- (1)木質バイオマス利活用プラント整備補助事業について
- (2)国民健康保険税の引き上げについて
- 報告に対する質疑・応答

### 2 地域別テーマについて意見交換

報告会でいただいた意見等は取りまとめをし、臨時号(9月18日発行)でお知らせします。

## 議会報告会の概要

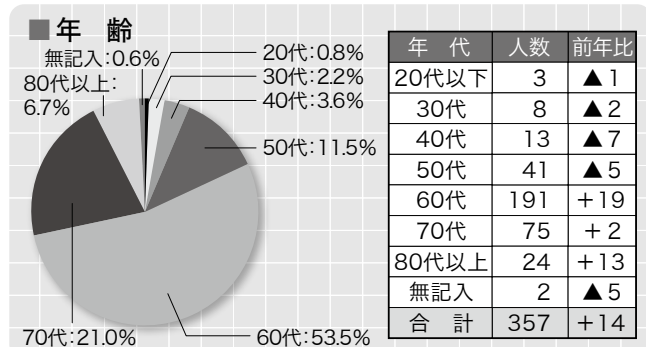
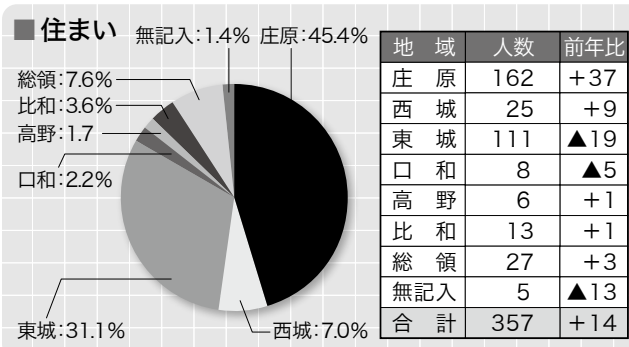
本年度で5回目となる議会基本条例に基づく議会報告会を7月3日から24日まで、22会場で開催し、議員3人または4人を1組とする5班に分かれ、各会場に伺いました。また、今回は、ジョイフルな会場を会場に、議員が午前・午後10人ずつに分かれて報告をするという新しい取り組みも実施しました。

市民の皆さんに日頃の議会活動の状況を知っていただき、ご意見やご提言を直接伺い、議会運営の改善を図ることを目的に開催し、延べ446人の参加をいただきました。



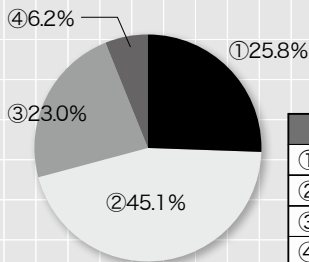
## 会場で配布回収した議会報告会アンケートから

【アンケートの結果】 回答総数357人(回答率:80.0%) 配布人数446人 (平均20.3人/会場)



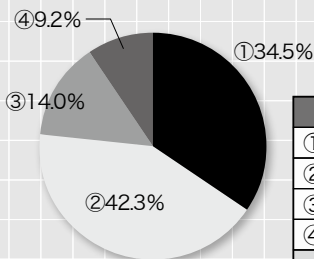
## ① 報告テーマについて

### ●木質バイオマス利活用プラント整備補助事業について



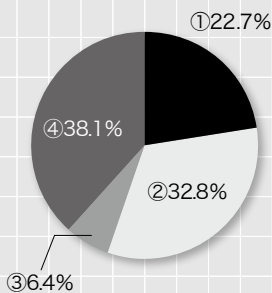
回答	人数
①わかりやすかった	92
②どちらともいえない	161
③わかりにくかった	82
④無記入	22
合計	357

### ●国民健康保険税の引き上げについて



回答	人数
①わかりやすかった	123
②どちらともいえない	151
③わかりにくかった	50
④無記入	33
合計	357

### ●意見交換（地域別テーマ）について



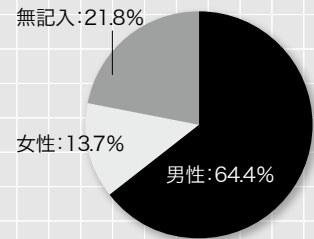
回答	人数	前年比
①わかりやすかった	81	▲5
②どちらともいえない	117	▲12
③わかりにくかった	23	+3
④無記入	136	+28
合計	357	+14

## ⑤ 報告会の内容についてのご意見 【主なもの】

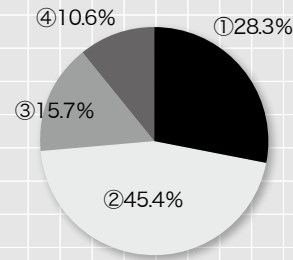
- 市民の注目度が高い内容だったのでよかったのではないかと。
- 市政に対して、住民の率直な意見が出される場合は、ほかにないと思うので、今後も積極的に取り組んでいただきたい。
- 制度の説明になってしまって、論点が議会の活動からかけ離れていると思いました。
- 木質バイオマス利活用プラント整備補助事業について、責任を行政・議会が取れていない。
- 国保税のアップは、低所得者には非常に厳しいという認識がない。

## ■性別

性別	人数	前年比
男	230	+44
女	49	+4
無記入	78	▲34
合計	357	+14

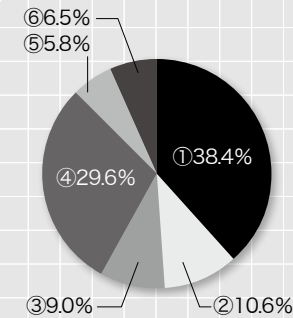


## ② 配布資料について



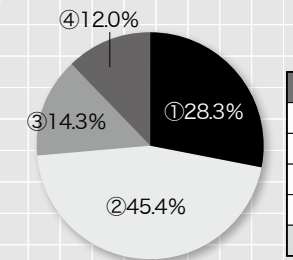
回答	人数
①わかりやすかった	101
②どちらともいえない	162
③わかりにくかった	56
④無記入	38
合計	357

## ③ 参加された動機について（複数回答）



回答	人数
①報告内容に興味があった	153
②議員と懇談がしたかった	42
③知人等に誘われた	36
④出席依頼があった	118
⑤その他	23
⑥無記入	26
合計	398

## ④ 議会報告会の評価について



回答	人数	前年比
①評価は高い	101	▲102
②どちらともいえない	162	+61
③評価は低い	51	+33
④無記入	43	+22
合計	357	+14

## ⑥ 庄原市議会についてのご意見 【主なもの】

- 議員の熱意が感じられた。
- 事前の準備をしっかりと行い、より内容のある質疑をしてほしい。
- 自分の意見はきちんとと言える議員になってほしい。
- 議員がいない地域へもっと足を運んで意見を聞いてほしい。
- もう少し住民に分かりやすく、理解される市議会にしてほしい。
- 政務活動費を活かし、何か一つでも、これだという事例を生み出してほしい。

議会報告会の開催、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

# 定例会

6月定例会は、6月12日から6月30日までの19日間の会期で開かれました。

工事委託契約の締結や一般会計補正予算案など議案5件、発議6件を審議しました。

## 主な議案

議案第87号

工事委託契約の締結について

工事名／芸備線備後庄原・備後三門市間胡橋補修工事

委託金額／1億5,440万円

業者／西日本旅客鉄道株式会社

## 発議

〈意見書〉

5件の意見書が可決され、国会や関係省庁に提出し、その実現を図るよう要望しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 社会保障、被災地復興、環境対策、地域交通対策、人口減対策など、増大する地方自治

体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。

ほか5項目

「国際平和支援法案」と「平和安全法制整備法案」制定に反対する意見書

日本政府においては、集団的自衛権の行使容認などを盛り込んだ「安全保障関連法案」の徹底審議を求めるとともに、国民への十分な説明がなく、広くその合意が得られない場合は成立させないよう求める。

### ● 反対討論

安全保障環境が厳しさを増す中、国民を守る体制を構築し、国際平和に貢献するため、法整備を進める必要がある。日本の状況、立場を冷静に見極め、判断することが大切である。

### ● 賛成討論

この法案について、憲法学者も憲法違反だと言い、また、国民も慎重審議を求めている。非核平和都市宣言をした本市として、これまで守ってきた平和を脅かすことがあってはならない。

教育予算の拡充を求める意見書

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OEC D諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。

ほか2項目

労働者派遣法改正案及び労働基準法改正案の慎重審議を求める意見書

1. 労働者派遣法改正案について慎重に審議し、欧州連合型の均等待遇の原則を参考に、派遣労働者と正規労働者間の均等待遇の確保を推進すること。

ほか1項目

### ● 反対討論

今回の改正は、立場の弱い派遣労働者を守るためのものである。正社員化を含むさま

ざまな対策を盛り込んでいく。また、仕事と生活の調和の観点から、働き過ぎを是正するものでもある。

### ● 賛成討論

この改正は、現在の労働者派遣制度を破壊するものであり、企業が正社員を派遣労働者に置きかえる不安がある。貧困と格差に拍車をかけ、社会・経済にとっても重大な問題である。

年金積立金の被保険者利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

1. 年金積立金は、厚生年金保険法等の規定に基づき、被保険者の利益のため、長期的な観点から安全かつ確実な運用を行うこと。

ほか2項目

### ● 反対討論

年金財政において、現役世代の保険料水準を固定化し、受給世代への高い給付水準を保つには、年金積立金の運用利益と活用は不可欠である。

### ● 賛成討論

年金積立金の運用について、年金を積み立てている団体の

意思を反映する制度ができていない中で、政府が状況判断で運用することは許されない。

## 発議

〈決議〉

観光を産業化するために何が必要かを探る調査特別委員会の設置に関する決議

本市の観光政策の現状、国際交流による観光振興の可能性及びDMOの設立に関して調査を行うため特別委員会を設置する。

### ● 反対討論

観光振興について否定するものではないが、議会としては、観光分野を所管している産業建設常任委員会で議論することが本来の議会活動である。

### ● 賛成討論

観光といっても、例えば、教育や自然、文化と、さまざまな面があり、多分野にまたがっている。常任委員会ではなく、所管にしなければならない特別委員会を設置して議論すべきである。

▽否決

《6月定例会》

新たに予算決算  
常任委員会が始動！  
一般会計外  
3会計の  
補正予算案  
原案可決

6月定例会初日（6月12日）に上程された、平成27年度庄原市一般会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計、国民健康保険病院事業会計の補正予算案は、議長を除く議員全員で構成する予算決算常任委員会※に付託され、審議されました。

6月19日に開催された予算決算常任委員会において、執行者の出席を求め、審議、採決の結果、付託された全補正予算案は賛成全員で原案のとおり可決されました。

そして、これらの補正予算は、定例会最終日の6月30日の本会議において、委員長報告の後、可決されました。



予算決算常任委員会での審議の様子

※予算決算常任委員会は、3月定例会における委員会条例改正により、本年4月27日から設置された、予算・決算議案について審議する新たな常任委員会です。

予算決算常任委員会での主な質疑

**問** 今回、庄原小学校のプール、中学校のエアコンについて国からの補助金が交付されることを予定していたが、不採択になった理由はなにか。不採択により財源は市債となるが、本市の実質負担はいくらか。

**答** 優先度の高い耐震対策が最終年度であったため、それらについて全国から多くの申請があった。そのため、本市の事業は不採択となった。市債は2,770万円の追加補正であり、元利償還金が交付税で70%措置されるので、残り30%が本市の負担（一般財源）となる。

**問** 平成26年度の決算見込みで、繰越金はいくらか。平成27年度の補正財源はいくらか。

**答** 一般会計の決算見込みにおいて、実質収支額は9億460万円余り。財政調整基金への積み立て予

定額は5億円であるため、繰越金は4億円。当初予算と6月補正予算で計上した繰越金を差し引くと、2億1,000万円余りが今後の補正財源となる。

**問** 男女共同参画事業の予算追加は、どの程度の内容を予定しているのか。例年、すばらしい講師が来るのに、参加者が少ない。

**答** 当初予算で講座を2回予定している。今回の補正で1回を追加する。たくさんの人に来ていただきたい。周知等積極的にやっていきたい。

本会議での委員長報告

一般会計補正予算の主な質疑等は、和牛振興、農業振興への取り組みと対策、保健医療での健康管理システム、学校教育施設の国庫補助について、そして、財政面として、平成26年度の決算見込みについてであった。特別会計補正予算案については、特筆すべき質疑はなかった。採決の結果、上程された全補正予算案は、全員賛成で原案のとおり可決となった。

一般会計補正予算の主な内容

戸籍住民基本台帳事業	マイナンバー制度に伴う、個人宛通知カードの作成・送付を、地方公共団体情報システム機構へ委任するための交付金。(歳入 国庫補助 1,341万2千円)
1,389万8千円追加	
和牛振興対策事業	繁殖農家を支援する牛舎整備補助金(2戸分)。経費に対して県が1/3、市が1/6を補助。加えて、比婆牛の増頭を計画する農家には、市単独補助1/6を追加補助。
1,333万円追加	
小学校施設整備事業	小奴可小学校屋内運動場の天井落下防止対策費。(国からの交付内示を受けて追加計上)
1,364万円追加	

教育民生常任委員会

庄原市立西城保育所におけるアレルギー食材の誤食について

〔調査方法〕

- ・西城保育所視察
- ・教育民生常任委員会(執行者出席)

〔調査内容〕

本年6月1日、西城保育所の昼食において、アレルギー除去食の対応誤りによって、当該児童の誤食が発生した。食物アレルギー該当児童が、アレルギーである「ゴマ」が入った「ふりかけ」を食したものである。幸いにも、当該児童の健康状態に大きな異常はみられなかった。平成26年に庄原・東城の保育所で3件の誤食があり、今回で4件目となり、現地調査を実施した。

〔調査結果 意見・提言〕

原因1 アレルギー児童専用の「アレルギー除去食記録簿」に、ふりかけの記載をもらしていた。  
原因2 当該児童の除去食材であるゴマ入りのふりかけが、検査の配膳にはなかったが、実際の児童への配膳には出ていた。

原因1については、「個別対応献立

表」から当該児童の「アレルギー除去食記録簿」を作成する際に、ふりかけは全児童に配膳するといった認識もあり、書きもらしたためであった。

原因2については、3歳以上の児童には、通常ふりかけを出していないが、今年に入り、保育士から調理員に対して、「3歳以上にもふりかけを出してほしい」との要望があり、1月16日にふりかけを全児童へ提供していた。その際は、アレルギー除去に該当する児童には、ゴマが入っていないふりかけで対応できていたが、今回は、提供することのみを意識し、配膳してしまったためであった。

本市は食物アレルギー対応マニュアルの作成を行い、現場へ徹底した指導、監督を行ってきた。緊張感を持って業務を行ってきたにもかかわらず、誤食が発生した。二重三重のチェック体制が、いとも簡単に突破されてしまった事実が、重く受け止めるべきである。日々の業務は複雑であり、マニュアルどおりに行かない場合が多くあるのではないか。そのため、マニュアルそのものが、現場の感覚と乖離しているのではないか。今後は徹底した現場の意見の吸い上げのもと、現場で働く職員が理解し、確実に実行できるマニュアルを作成すべきである。今回の事故を徹底的に検証の上、業務改善を行ってほしい。

平成27年6月

定例会議決結果

賛成全員のもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
6月12日	議案	87	工事委託契約の締結について	原案可決
6月30日	議案	88	平成27年度庄原市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
		89	平成27年度庄原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		90	平成27年度庄原市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
		91	平成27年度庄原市国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
	発議	6	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
		8	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決

賛否の分かれたもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果	賛成(人)	反対(人)	五島誠	政野太	吉方明美	近藤久子	徳永泰臣	福山権二	堀井秀昭	坂本義明	松浦昇	横路政之	林高正	田中五郎	岡村信吉	赤木忠徳	垣内秀孝	竹内光義	門脇俊照	宇江田豊彦	八谷文策	谷口隆明		
6月30日	発議	7	「国際平和支援法案」と「平和安全法制整備法案」制定に反対する意見書	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		9	労働者派遣法改正案及び労働基準法改正案の慎重審議を求める意見書	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		10	年金積立金の被保険者利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		11	観光を産業化するためには何かが必要かを探る調査特別委員会の設置に関する決議	否決	5	14	○	×	×	×	○	×	×	議長	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	

議長…議長職

# 一般質問

6月定例会では、12名が一般質問を行いました。  
この記事は、要旨をまとめたものです。



**答** 現在、市内の小学校19校に1,673人、中学校7校に862人の児童・生徒が在籍しているが、5年後には、小学校1,421人、中学校808人と、306人が減少するものと見込んでいる。児童・生徒が減少の一途をたどる中、小中学校の適正配置、統廃合は避けて通れない問題と認識している。今後、検討委員会の設置やスケジュールについて、将来の学校像を踏まえ、早い時期に検討していきたい。

**問** 5年後の児童生徒数の推計と、再配置を検討しなければならぬ時期について、どのような考えか。

市内小中学校の適正規模・適正配置について



こんどう ひさこ 議員  
近藤 久子

**問** 10年間で2億3,000万円の交付額となっている。今後、事業申請に当たっての地域格差の是正と、ソフト面の取り組みの推進を図るべきではないか。

自治振興区活動促進補助金の活用について

**答** 補助金を活用した取り組みの事例発表や活動を紹介したポスター展示などの自治振興区活動報告会の実施、活動報告書の配布により、申請のない地域に対して情報提供を行っている。今後は、高齢化により、区民が安心して暮らし続けるために必要な事業の申請が増えるものと思われる。自治振興区みずからの取り組みを積極的に支援していきたい。



自治振興区の活動報告

近藤久子議員のその他の質問  
○児童生徒に対する性犯罪・性暴力への対応について



あかぎ ただのり 議員  
赤木 忠徳

サイバー攻撃に万全の対策を

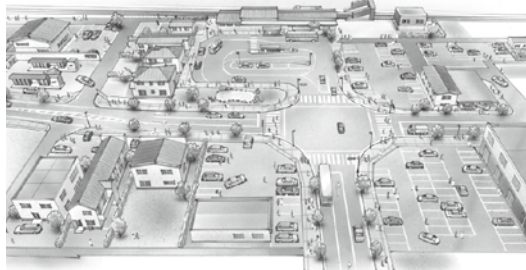
**問** 日本年金機構から個人情報流出した事件は、改めてセキュリティの確認をする必要があると考えさせられた。個人情報管理の体制及び発生時の行動計画はあるのか。

**答** 各課長等を責任者とし、個人情報の収集・保管・利用等、適正な管理と安全確保を図るとともに、職員の指導監督を行うこととしている。情報漏えい等の発生時の行動計画は、規則、基本方針や対策基準に基づき、直ちにネットワークを遮断する等の情報漏えいの拡大防止策を講じる。また、必要に応じて警察等関係機関に報告を行い、悪用防止策、再発防止に向けた対策を行うこととしている。情報技術を取り巻く環境は、日々進化し、不正アクセスなど、その攻撃手法もより複雑化、巧妙化していることから、危機感を持って今後継続してセキュリティ対策の強化を図ってきたい。

JRの利用促進について

**問** 庄原駅周辺整備が本格的に動き始めたが、JRの利用促進について、どのような将来ビジョンをもっているのか。

**答** 新たな急行列車の復活は、利用者の安定的な確保の面で厳しい状況にある。利用者の利便性向上について、芸備線対策協議会を通じ、多様な協議をしていきたい。また、観光における臨時便について、旅行会社からの要望はない。観光に係るJRの利用法について研究したい。



庄原駅周辺整備完成イメージ

赤木忠徳議員のその他の質問  
○地産地消の取り組みについて



かどわき としてる 議員  
門脇 俊照

小中学生による携帯電話やスマートフォンの使用について

**問** スマートフォン等の学校への持ち込みは禁止になっているが実情はどうか。社会問題になっている依存症やいじめはないか、家族を交えた使用ルールの指導はできないか。

**答** 通学途上の安全確保のため、保護者が学校に申請した場合を除き、小中学校すべてにおいて持ち込みを禁止している。しかし、学校内への持ち込み、ラインで友だちの悪口を流したこと、動画サイトへ不適切な動画を投稿したことなどの問題が起きている。こうした問題を未然に防止するため、中学校では警察署員等を招へいし、生徒・保護者を対象に、安全な使い方について指導している。さらに、本年、児童生徒の所有率や使い方などの実態を把握するアンケート調査を実施した。今後、この調査結果をもとに、市内小中学校長会、PTA連

合会など関係機関等と連携した取り組みを検討していく。



災害時における市、自治振興区、消防団の役割・任務について

**問** 指示、統括は誰が行うのか。また、避難者のお世話、食事などの諸経費は、誰がどこまで負担するのか。

**答** 食料、毛布類や医薬品類など、避難所の運営にかかる経費は、市が負担するものと考えている。また、避難所における電気料や水道光熱費など経費負担が明確でない部分は、自治振興区や自主防災組織等と協議を行い、ルール作りを行っていく。平常時から自治振興区や自主防災組織等と連携を図り、災害時の迅速な対応に努めていきたい。

門脇俊照議員のその他の質問  
○マイナンバー(社会保障・税番号制度)について



一般質問



よしかた あけみ 吉方 明美 議員

高齢者の交通事故を防ぐために

**問** 高齢者の事故が増えているが、免許証を返納しても安心して暮らしていくために、市民タクシー事業を全市的に拡充すべきではないか。

**答** 市民タクシー事業とは、自治振興区が事業主体となり、タクシー事業者に運行を依頼している事業で、予約に応じて運行することから、無駄のない効率的な運行が可能となる。この事業は、同じ自治振興区内での導入地区は増加傾向にあるものの、新たな自治振興区での取り組みには至っていない。今後は、市民タクシー事業の検証を行うとともに、未実施の地域に働きかけ普及に努めていきたい。



吉方明美議員のその他の質問  
○子育て支援・高齢者介護支援の一助として、紙おむつの処理経費を減免する仕組みについて



ふるさと納税制度を地域活性化の起爆剤とするについて

**問** 記念品として人気のない「広報紙」「市誌・町誌」を取りやめ、庄原特産品を多く取り入れ、産業振興を図るべきではないか。

**答** ふるさと納税制度は、生まれ育った故郷を応援する気持ちを寄附という形で表す制度であり、産業振興という視点のみに重点を置いた取り組みではなく、ふるさと庄原を応援いただける方々の思いに対し、感謝とお礼の気持ちをお伝えする取り組みとして、庄原を応援していただける方がより増えるよう、制度の充実やPRに努めていきたい。



こしま まこと 五島 誠 議員

「廃校ノスタルジアin庄原」について

**問** 本年3月に旧田川小学校を舞台に「廃校ノスタルジアin庄原」が開催された。1,600人を超える方が来場し、にぎわいを見せた事業であるが、開催に至る経緯、成果と課題について伺う。  
また、フェイスブックなどの活用やデザイン性・ストーリー性を他の事業において、どのように発揮していくか。

**答** 「廃校ノスタルジアin庄原」とは、学校の休校、廃校に伴い、利活用の見込みのない学校備品や、不要となった教材を広く一般にリサイクル販売する取り組みである。市民団体や大学生などと実行委員会を立ち上げ実施したもので、約150万円を売り上げる結果となった。  
最大の成果は、民間の方々と行政が密接につながり、新たなイベントの形

五島誠議員のその他の質問  
○インバウンドについて



廃校ノスタルジアのfacebook



会場の様子

態を生み出すことができたことである。また、新聞やラジオ、フェイスブックを活用し、情報共有を図ることができた。一方、学校の備品等には、寄贈されたものや多くの思い出があるものもあり、地域の方々のご理解、ご協力を得ること、駐車場や交通手段の確保が課題として挙げられる。また、各種行事やイベントは、「知ってもらおう」「参加してもらおう」「満足してもらおう」が基本であり、常に新たな視点・発想を持つことが大切と認識している。  
この企画・運営手法の他事業への適用は、他の部署へ情報提供する中で、事業内容に応じた可能な範囲で判断していきたい。



う え だ とよひこ 議員  
宇江田豊彦

長期総合計画について

**問** 庄原市長期総合計画は、合併時の新市建設計画を踏まえ、地域特性や市民の声をもとに、2006年度から2015年度までの10年間を計画期間として策定された。今回、新たに第2期長期総合計画策定に向けての取り組みがスタートしている。第1期計画の達成度の分析と課題の整理が必要不可欠と考えるが、所見を伺う。

**答** 現在、第2期長期総合計画の策定に取り組む中で、第1期計画の検証も行っている。

松江自動車道の開通と「道の駅」などの整備等により、観光客が著しい回復を見せているほか、「比婆牛ブランド」の復活や「こだわり米」「高野の逸品100プロダクト」などの成果を通じ、生産者の皆さんの熱意や期待を肌で感じている。また、超高速情報通信網の全域整備に着手し、企業誘致

や若者世代の定住促進、緊急情報の伝達手段として、大きな役割を果たすものと期待している。そして、第3子以降の保育料無料化による子育て支援をはじめ、高齢者のニーズに応じたサービスを提供し、諸活動や日常生活における高齢者支援に努めたいところである。教育環境の耐震化対策も計画的に進め、自治振興センターにおける生涯学習事業の実施や各種文化スポーツ活動への市民参加を促し、地域文化やスポーツの振興に努めた。

庄原市長期総合計画



第1期長期総合計画

宇江田豊彦議員のその他の質問  
○児童福祉課保育係の取り組みについて

マイナンバー制度について

**問** 公的年金の個人情報の大量流出、制度の見直しの議論が起きている韓国やアメリカの教訓から、実施は中止・撤回し、個人情報の分散管理と徹底した個人情報の保護こそ必要ではないか。

**答** 今回の日本年金機構の事件に明、再発防止策の検討が進められ、その結果を受けて各種ガイドライン等の見直しを行い、関係機関をあげてセキュリティ対策の強化が図られる予定である。マイナンバーの取り扱いに関する監視監督は、第三者委員会である特定個人情報保護委員会が行い、個人情報は一カ所で管理されるのではなく、行政機関ごとに分散管理されるなど、制度、システムの両面からさまざまな安全対策が講じられる。市としては、マイナンバー制度関連法令等の定めに従い、マイナン



たに くち たか あき 議員  
谷口 隆明

小規模事業者対策について

**問** 昨年12月議会で、小規模企業振興条例の早期制定を求める請願が、全会一致で可決されているが、条例制定に向けての方針を伺う。

**答** 今年度、小規模企業を含む市内中小企業を対象とした実態調査を行い、企業の現状と課題を把握し、庁内組織及び商工団体、金融機関等による外部検討会議の設置により、広く意見聴取を行うこととしている。この調査結果をもとに、小規模企業も含めた中小企業に対する新たな支援制度や現行の庄原市中小企業振興条例の改正など検討を行っていく。

谷口隆明議員のその他の質問  
○観光地のイメージアップを



バーの利用開始に向けて準備を進めていく。

# 一般質問



とくなが ひろあき  
徳永 泰臣 議員

林業政策の長期的な  
展望について

**問** 本市林業の将来的なイメージが見えてこない。改めて、本市林業振興の方向性を伺う。

**答** 原木生産の基盤を整備するため、境界の明確化や路網整備、高性能林業機械の導入等について、森林組合などの事業体に支援を行ってきており、一定の基盤が整いつつある。近年、これまでの用材としての利用に加え、新たな使用技術として注目を集めている「CLT」と呼ばれる直交集成板への加工用や、無垢材として木材加工業者からの需要が増えていると予想される。また、これまで未利用となっていた末木や根元部、小径間伐材も、木質バイオマス発電燃料として需要が高まっている。これらに対応するため、民間事業者を巻き込み、立木在庫や立木売買、原木需要の情報共有を行い、広域流通をコーディネート

できる組織が必要と考えている。時代の要請に応じた柔軟な思考で、有効に活用し、継続した施業の積み重ねにより、次世代につながる「使える」森づくりをめざしている。

**問** 本市の市有林を持続的な森林経営、儲かる林業を实践するためのモデルとして活用してはどうか。

**答** 庄原市林業振興計画では、市有林は次世代につながる循環利用のモデル森林となるよう、適正な管理を行うこととしている。このため、市では「市有林管理計画」を策定するよう準備を進めている。計画策定にあたっては、団地規模、樹種構成、道路状況、生育状況の調査を行い木材生産の機能に重点を置く山林と、水源涵養・環境等の公益的機能に重点を置く山林に分類し、それぞれの森林の持つ多面的機能が発揮できる施業を計画したいと考えている。



庄原市林業振興計画（概要版）



やた がく  
八谷 文策 議員

少子化対策について

**問** 本市の若者が、どのような庄原市であってほしいと考え、また本市出身の若者が帰りたい庄原市とは、どのような市かをしつかり調査すべきと思うが、所見を伺う。

**答** 他市に居住する本市出身の若者への調査は、個人情報保護の観点から困難であり、実施していない。まずは、家庭や地域、事業所や市民全体で「庄原に帰ろう、庄原で暮らそう」という機運を醸成することが大切だと考えている。昨年、第2期長期総合計画の策定に向けて行ったアンケート調査において、帰郷に関する調査項目を設けており、その結果を参考にするとともに、定住相談窓口において、帰郷したいと願う若者の多種多様なニーズの把握に努めていきたい。

空き家対策の考え方について

**問** 各自治体は、空き家等の適正管理に関する条例を国の指導により制定している。本市では、どのように考え進めていこうとしているのか。

**答** 市町村は、必ずしも、「空き家等の適正管理に関する条例」の制定が必要ではない。本市においては、まずは、取り組み体制を整備し、実態調査を実施した上で「空家等対策計画」を策定し、空き家問題に取り組むこととしている。また、空き家対策を適切かつ円滑に実施するための助成制度等、支援施策についても、空家等対策計画を策定する中で、引き続き検討していきたい。





はやし たかまさ 議員  
林 高正

DMOも含めた  
公共交通網の整備について

**問** DMO戦略の重要なファクターは移動手段だと思いが、現状のままで観光地間の競争に本市は勝てるのか。総合的に伺う。

**答** 現在、県観光課や旅行会社など関係機関から外国人観光客の入国地や訪問目的、移動経路などの情報収集を進めている。DMOの構築による観光振興を図る上では、二次交通アクセスの改善が必要であると認識しており、レンタカーや観光タクシー、送迎バスなどの充実に向けたい仕組みづくりを庄原観光いちばん協議会等で検討していきたい。



広島県の電子マネー方式  
プレミアム付き商品券について

**問** 広島県は、県内の商店街や大型チェーン店等において使用可能な電子マネー方式プレミアム付き商品券(地域電子マネー)を発行するとしているが、本市の商店街活性化策との整合性について伺う。

**答** 広島県の事業は、商業力の高い沿岸部へ消費が集中することが予想され、事業に取り組む市内事業者は一部に限定されるものと思われる。市町に対して県からの意見の聴取は行われておらず、全県的な取り組みとならないのではないかと懸念している。今後、電子マネーの読取装置の導入支援や地域を限定したプレミアム付き電子マネーなど、中山間地域の地域活性化に資する事業となるよう要望を行っていく。



広島県が発行する電子マネー方式  
プレミアム付き商品券



ふくおか けんじ 議員  
福山 権二

第2期長期総合計画の  
策定について

**問** 第2期長期総合計画の策定が進められているが、この計画のめざすべき方向性をどのように考えているのか。また、策定段階で市民の意見をどのように取り入れようとしているのか。現段階での計画策定の進捗状況について伺う。

**答** 第2期長期総合計画は、第1期計画と同様に、本市における最上位の行政計画に位置づけ、市民の皆さんと行政が夢や課題を共有しながら10年後の本市を創造するための指針として、現在、策定作業を進めている。重視すべき方向性は、ある程度の人口減少を受け入れつつも、いかにして減少を抑制するか、また、減少に伴う市民生活への影響に、どう対処するかであると考えている。加えて、庄原いちばんづくりを掲げ、関係事業の優先実施にも取り組んでおり、「心のい

ちばん」という視点も踏まえながら、「心豊かに安心して暮らし続けることのできる未来都市の実現」をめざす必要があると認識している。

計画策定は、市民の皆さんの意見・意向を聞くことが基本であり、市民6,500人と中高生600人を対象にアンケート調査を実施し、その結果を整理・分析して、基礎データとして活用している。あわせて、様々な分野の方々から広く意見を伺うため、学識経験者、公共的団体の役員、各地域代表など、25名で構成する長期総合計画審議会を設置し、意見をいただいている。引き続き、審議会及び庁内会議を開催することも、バブリックコメントなどを経て、基本構想、基本計画をとりまとめ、本年12月には、議会に提案する予定である。



庄原市長期総合計画審議会の様子

# 一般質問

**問** 有害鳥獣対策を総合的に

また、捕獲を行った対象鳥獣の処理に関しては、埋却又は焼却処分としていない。シビエの活用についても、原料確保、衛生管理、事業実施者、販路、採算性等の課題があり、市として加工施設等を整備する予定はなく、地域おこしにシビエを活用することは計画していない。

**答** 市では、免許所持者を確保するため、狩猟免許取得助成事業による支援を行っており、経費の4分の3の補助金を交付することとしている。

**問** 集落ごとにわな猟資格者養成の指導と支援で、捕獲頭数を増やし、捕獲獣の解体施設を整備し、シビエを地域の振興につなげてはどうか。

有害鳥獣対策を総合的に



まつうら 松浦 のぼる 議員

松浦昇議員のその他の質問  
○安倍政権が企てる「戦争する国」づくりを中止させるための行動を求める。



**答** 平成20年から平成24年までの5年間の本市の合計特殊出生率は、全国平均の1.38に比べ、0.43ポイント高い1.81で、県内でも3番目の高位にあり、概ね2人の子様を出産されている状況にある。こうしたことから、今後においても第3子以降の保育料無料化を継続することによって、多子世帯の子育てを支援し、安心して子育てできる環境づくりを推進していきたい。

**問** 旧口和町の少子化対策で、平成2年から第2子の保育料を無料化し好評であったが、15年間実施後、合併で廃止。少子化、経済対策両面から検討してはどうか。

第2子の保育料の無料化で、経済的負担の軽減を

## ご意見募集!!

議会だよりについて、ご意見をお寄せください。



議会広報委員会では、よりわかりやすく、読みやすい議会だよりを発行するため、市民の皆様のご意見やご感想を募集しています。

下記の方法により、皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

- メール: [gikai@city.shobara.lg.jp](mailto:gikai@city.shobara.lg.jp)
- FAX: 0824-73-1246
- 郵送: 〒727-8501  
広島県庄原市中本町一丁目10番1号  
庄原市議会事務局



# 表彰

本市市議会議員が次のとおり表彰されました。  
功績をたたえ、今後の活躍を祈ります。

## 第91回 全国市議会議長会定期総会

開催日時 6月17日  
開催地 東京都

●議員一般表彰  
議員15年以上

堀井 秀昭

議員10年以上

岡村 信吉  
田中 五郎  
林 高正



受賞者を代表して挨拶する竹内光義議員

## 第136回 中国市議会議長会定期総会

開催日時 5月27日  
開催地 広島市

●正副議長特別表彰  
正副議長6年以上

竹内 光義

●議員特別表彰  
議員40年以上

松浦 昇

議員24年以上

堀井 秀昭

議員12年以上

赤木 忠徳  
垣内 秀孝



## 議会を傍聴してみませんか。

本会議や委員会はどこでも傍聴できます。  
議場は市役所本庁舎5階にあります。  
お気軽に傍聴においでください。

### しょうばら市議会だより第43号(5月20日発行)の記事訂正とお詫び

しょうばら市議会だより第43号(5月20日発行)の記事について、下記のとおり記載内容に誤りがありました。訂正するとともに、関係者の皆さまに深くお詫び申し上げます。

#### ● 3P 臨時会議決結果

議案第84号

専決処分の承認を求めることについて(庄原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

誤) 全員賛成

正)

投票数		五島	政野	吉方	近藤	徳永	福山	堀井	坂本	松浦	横路	林	田中	岡村	赤木	垣内	竹内	門脇	宇江田	八谷	谷口	
賛成	反対	誠	太	明美	久子	泰臣	権一	秀昭	義明	昇	政之	高正	五郎	信吉	忠徳	秀孝	光義	俊照	豊彦	文策	隆明	
17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×

#### ● 8P 人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて

誤) やまもとたかかず 山本孝和 → 正) やまもとたかかず 山本考和

# 平成26年度政務活動費の収支報告について

政務活動費は、議員の調査研究活動に必要な経費の一部として交付されるもので、各会派又は会派に所属しない議員に半期ごと（4月と10月）に交付されます。各会派等は収支報告書に領収書を添付し議長に報告しています。毎年2月には、当該年度の4月分から12月分までの報告書類について、議長による内部監査を行い透明性の確保に努めています。

提出された収支報告書・領収書等は所定の手続きにより、議会事務局において閲覧することができます。また、収支報告書及び項目別集計表は市議会ホームページで、ご覧いただくことができます。

## 収支報告総括表

【交付対象期間】平成26年4月～平成27年3月

(単位:円)

会派・議員	所属議員数	交付額	政務活動費項目別集計							会派議員負担分	会派議員負担分差引合計額	残余金返納額
			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	合計			
きずな	4	1,440,000	71,866 (1件)	978,881 (5件)	0	0	391,950 (3件)	0	1,442,697	2,697	1,440,000	0
市民の会	2	720,000	126,900 (1件)	0	0	6,660 (3件)	0	0	133,560	0	133,560	586,440
日本共産党	2	720,000	222,370 (3件)	0	0	15,610 (6件)	172,800 (1件)	18,000 (1件)	428,780	0	428,780	291,220
清政会	8	2,880,000	1,441,926 (13件)	150,759 (4件)	0	106,686 (4件)	781,212 (1件)	0	2,480,583	0	2,480,583	399,417
大志の会	2	720,000	30,937 (1件)	210,439 (3件)	0	99,880 (3件)	378,000 (1件)	0	719,256	0	719,256	744
横路政之	1	360,000	125,607 (2件)	76,760 (2件)	0	52,078 (6件)		0	254,445	0	254,445	105,555
吉方明美	1	360,000	207,244 (3件)	0	0	8,450 (2件)		0	215,694	0	215,694	144,306
合計	20	7,200,000	2,226,850 (24件)	1,416,839 (14件)	0	289,364 (24件)	1,723,962 (6件)	18,000 (1件)	5,675,015	2,697	5,672,318	1,527,682

※交付額を超える額は、各会派または議員個人の負担としています。

### 交付額

- 会派の場合 月3万円 × 所属議員数
- 会派に所属しない議員 月3万円

### 支出項目の説明

項目	使 途 基 準	使途基準細目
研究研修費	研究会・研修会開催に必要な経費又は他の団体が開催する研究会・研修会に参加するために要する経費	会議費、講師謝金、出席者負担金、会費、交通費、宿泊費等
調査旅費	調査研究活動に必要な先進地調査及び現地調査に要する経費	交通費、宿泊費等
資料作成費	調査研究活動に必要な資料の作成に要する経費	印刷製本費、コピー代、翻訳料、委託料等
資料購入費	調査研究活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	書籍代(電子書籍含む)、法規類の追録代、DVD等購入費、有料データベース利用料等
広報費	調査研究活動、議会活動及び市の政策について市民に報告し、PRするために要する経費	印刷製本費、郵送料、会場費等
広聴費	市民からの市政・会派及び議員の政策等に対する要望・意見を聴くための会議等に要する経費	会場費、印刷製本費等

※広報費は、会派に所属しない議員については認めていません。

# 議会の動き

5・6・7月

## 5月

- 8日 議会運営委員会
- 13日 議会運営委員会
- 14日 総務財政調査会
- 18日 議員全員協議会
- 19日 総務財政調査会
- 20日 教育民生調査会
- 21日 産業建設調査会

## 6月

- 1日 議員全員協議会
- 1日 予算決算調査会

- 5日 議会運営委員会
- 5日 議員全員協議会
- 12日 第3回市議会定例会 **初日**
- 12日 議会運営委員会
- 16日 総務財政常任委員会
- 16日 教育民生常任委員会(所管事務調査)
- 16日 教育民生常任委員会
- 19日 予算決算常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 19日 総務財政常任委員会
- 22日 第3回市議会定例会 **2日目**
- 23日 第3回市議会定例会 **3日目**
- 24日 第3回市議会定例会 **4日目**

- 24日 産業建設常任委員会
- 30日 議会運営委員会
- 30日 第3回市議会定例会 **5日目**
- 30日 議員全員協議会
- 30日 議会広報委員会

## 7月

- 8日 総務財政常任委員会
- 9日 総務財政常任委員会
- 22日 総務財政常任委員会
- 29日 議会運営委員会
- 30日 産業建設常任委員会
- 31日 教育民生調査会

## 9月定例会の主な日程(予定)

日にち	主な会議名
9月3日(木)	本会議
9月16日(水)	本会議(一般質問)
9月17日(木)	本会議(一般質問)
9月18日(金)	本会議(一般質問)
9月25日(金)	本会議
9月30日(水)	本会議

※予定のため、変更となる場合があります。  
詳しくは議会事務局(TEL0824-73-1162)へお問い合わせください。  
本会議は、いずれも午前10時から開会の予定です。

本会議生中継映像をインターネット上で配信しています。  
ぜひご利用ください。なお、録画映像も30日間はこちらでご覧いただけます。

庄原市議会  検索 または、



により、  
庄原市議会ホームページへ  
アクセス

議会中継を選択 → **ユーーストリーム  
配信を視聴する** を選択

## 編集後記

この度の議会だよりで主にお伝えした6月定例会は、現任期折り返し中途の新しい議会体制となって初めての定例会でした。

本会議はもちろんのこと、体制の変った常任委員会でも継続調査事項が決定し、より具体的な議論が進められています。普段、議員がどのようなことを議論しているのか、具体的に活発な議論の繰り広げられる常任委員会活動について、今後の議会だよりでは、より多くのことを報告していきたいと思えます。

また、本年度より新たに常設された予算決算常任委員会についても、どのように議論が深められていくのか、市民の皆様にはわかりやすくお伝えしていきます。

来年度7月の参議院議員選挙から選挙権は18歳以上になります。高校生への働きかけも検討し、議会だより、議会報告会、ホームページや議会中継など、より「開かれた議会」をめざしてまいります。皆様のご意見をお願いします。

### 議会広報委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 福山 権二 |
| 副委員長 | 五島 誠  |
| 委員   | 堀井 秀昭 |
|      | 垣内 秀孝 |
|      | 徳永 泰臣 |
|      | 横路 政之 |